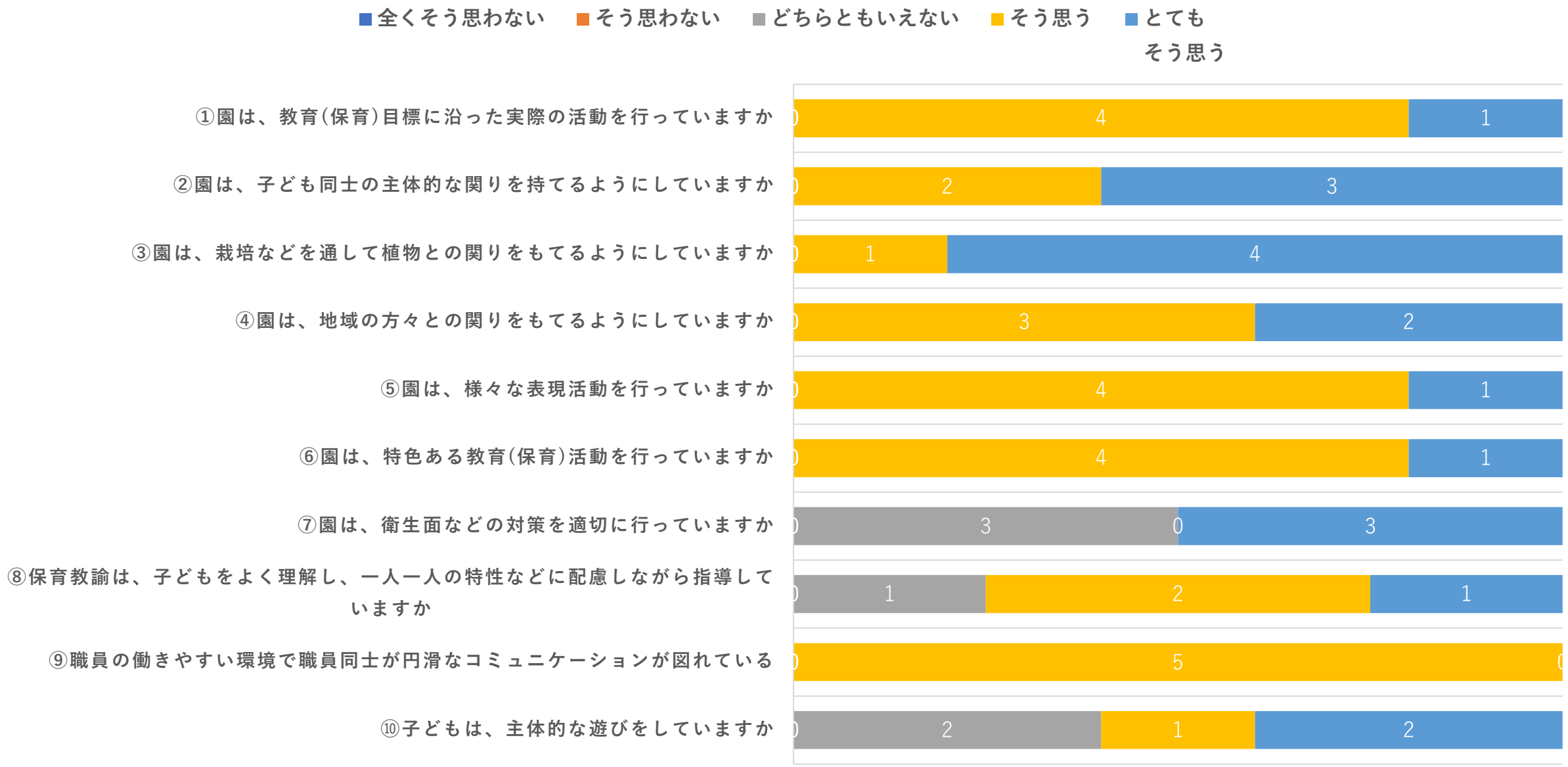
2022年度　公開保育提言まとめ

1. 探求型保育を目指し、学びあい・育ち合う「組織」づくりに取り組む

2. 地域や様々な分野からのサポーター力を活かしながら保育の幅を広げていくと共に、世代間交流を継続する

3. 「主体的・対話的で深い学び」の可視化を

公開保育・園評価


全くそう思わない
そう思わない
どちらともいえない
そう思う
とても
そう思う
①園は、教育(保育)目標に沿った実際の活動を行っていますか
0
4
1
②園は、子ども同士の主体的な関りを持てるようにしていますか
0
2
3
③園は、栽培などを通して植物との関りをもてるようにしていますか
0
1
4
④園は、地域の方々との関りをもてるようにしていますか
0
3
2
⑤園は、様々な表現活動を行っていますか
0
4
1
⑥園は、特色ある教育(保育)活動を行っていますか
0
4
1
⑦園は、衛生面などの対策を適切に行っていますか
0
3
0
3
⑧保育教諭は、子どもをよく理解し、一人一人の特性などに配慮しながら指導していますか
0
1
2
1
⑨職員の働きやすい環境で職員同士が円滑なコミュニケーションが図れている
0
5
0
⑩子どもは、主体的な遊びをしていますか
0
2
1
2

保育力

・子どもに寄り添い、様々な活動をしているのが大変好ましいことだと考える。

・コーナー遊びというのがとても良い試みだと思った。
実際に見てみて、子ども達それぞれが主体的に真剣に取り組めていて、とても楽しそうだった。

・コーナー保育は一斉保育と比べて保育者は声かけや準備など臨機応変に対応せねばならず大変だとは思うが、子ども一人ひとりの個性を大事に丁寧に保育をしていると感じた。

・探求型保育を目指し、設定保育への取り組みに園全体でアイディアを出し合い、保育者一人ひとりが主体的に取り組んでいる様子を見ることができた。

・植物との触れ合い、地域ボランティアとの課外活動など、日々多様な経験ができ、子どもの感性、主体性を育む保育に取り組んでいると感じた。

・子どもの主体性を考えながら保育、教育を展開していこうという強い思いを成果物より感じた。

保育環境

・ロッカーや棚の上の荷物が気になった。時期的な物や行事前等の一時的なものもあるかと思うが工夫があるとよいと思う。

・1号館教室前のマットの破損が気になった。

・今あるスペースや保育環境の中で、子どもをよく理解しつつ保育を行うには工夫も余儀なくされる。保育者自身がその意味を理解し、喜びをもって取り組めることが大事だと感じた。

その他(保育者の学び合い・可視化)

・教諭同士が議論を通し、協議する様子を感じることができた。実践している様子もみてみたい。

・園内研修の様子が分かりやすかった。教諭同士の意見交換や学び合いの様子がよく見えた。
園長からは園の教育(保育)の様子、特色のある活動等もたくさん話があったが、実際の子ども達や保育教諭の方々の様子が見られるとよかった。

・子どもの成長、発達を考慮した保育教育内容を検討し、今できることを丁寧に実践していると思う。
議論の成果物の展示やファイリングなどから丁寧な仕事を感じた。

・実践にとても興味が湧いた。機会があればぜひとも実践の様子を見学、参加させていただきたいと思う。

・せっかく取り組んでいるこの実践を保護者や入園前の方たちにもっと伝わるとよいと思う。

公開保育参加者との対話　～より良い保育を目指して～

保育力

＊これからの若い世代、入職当初から保育力をあげていくのは難しい

⬇

コロナ禍での保育者養成…
対面式の授業が難しく、養成校にて演習の機会を設けることが困難な期間を過ごした学生たち
新しい人たちに一石一兆ではいかないと感じる。
記録を積み重ねて経験値を上げていってほしい。

現場の保育者の変化
以前は作業をしていても声をかけてもらえなかったが、1年ほど前から声をかけてくれるようになったり、挨拶をしてくれるようになった。先生方の表情がキリッとなってきた。
知識だけではなく、意識の持ちようで保育力をあげていくことはできると感じる。

＊探求型保育(コーナー保育)を進めていく中で

スペース、子どもの数に対する保育者の数、日本の･･･今ある環境の中でどう変えていくか
コーナー保育での学び「主体的・対話的で深い学び」がキーワード←小学校以上の学習指導要領総則にも明記
とは言いつつも…まだまだ「トーク＆チョーク方式」の教育が多く、集団保育の中でのルール(約束事)、
規律性を身につけることも必要ではないか。

研修

＊研修の頻度について検討していく

保育者の意識
何のためにコーナー保育をするのか。保育教諭同士の共有、先生達同士での意識
日々忙しく毎日が流れてしまう中で、振り返る、見つめなおす･･･頻度があまり開かずに
できればよいと思う。5感に触れるなど･･･研修のポイントを絞っては？

スキルアップと合わせてブラッシュアップ
中堅や若手の先生方などが研修を主催することにより今後の保育力の底上げにつながる

一般企業と違い、保育現場は視野が狭くなりがちだと思う。
様々な角度から幅広い視野で･･･

交流

地域との交流･･･
コロナ禍においてこの3年間できなかったことを、少しずつ再開できれば良いと思う。
地域との交流、大がかりなイベントを年１回（園庭開放、スポーツイベント等）

妊婦さん来園･･･
妊婦さんを孤立させない･･･特に初産の妊婦さん。
2歳児クラスの見学や、子育て支援の幅を広げてもいいのではないか。

高齢者との関り･･･
核家族化が進む現代社会において、色々な人と関わる経験は大切。
昔話しを聞いたり遊びを教えてもらったりしながら過ごす。保育の中でそんな時間も大事にしてほしい。

こちらの思いを共有
親の思いを共有
多角的な面から方法を模索
ドキュメンテーション
地域も含めた発信を